

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		文京区放課後等デイサービスJOY		公表日 令和8年4月1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・整理をして活動エリアが広がるようにしている。	・定員の数との対比としては、基準の範囲内であるが、人口密度が高いと感じる。 ・基準上は問題ないが、もう少し広さがあると個別支援などの幅が広がる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・子ども状況にも応じてだが、必要な支援ができるように配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・構造化はできていないが、子どもたちの成長に応じ使用できるイスなどを用いている。	・導線には改善の余地がある。 ・空気清浄機があると安心 ・子どもの目線に立った構造化を深める必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・清掃は1日2回行うなど気を付けている。	・生活空間はスペース的に狭いので心地よく過ごせる環境ではないように感じる。 ・いつ、どこを重点に掃除を行うかなど衛星管理の基準が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・活動の内容や利用者のニーズに合わせて活動場所を変えるようにしている。 ・カーテンを敷いて個室を作っている。	・個室がなく個別に使用できる場所がない。どう子どもの個別に対するニーズに答えるかが課題である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・毎月の定例会で行っている場合がある。 ・会議等全スタッフが参加して取り組む	・職員全体でPDCAサイクルに取り組む習慣をつくる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・月1回の定例会で機会がある。	・会議等は設けているが、業務改善までつなげられていない。 ・職員一人一人に目をむける仕組みが必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・3年に1回実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		・自己研鑽はしているが、周知し全体で共通理解をもつようになることが課題
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	・面談でアセスメントをして定例会を介してから作っている。	・分析のやり方に改善が必要
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2		・「こどもの最善の利益」について職員全体でもっと掘り下げる必要がある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	・定例会を介してみんなに共有している	・共有はできていると思うが、共通理解をもち計画に沿った支援を全体に求められるようになることが課題。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		・事業所全体でフォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメントの違いを理解しきれていない。考えを深める必要あり。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2		・本人支援と家族支援は考えられるが、移行支援と地域支援の内容を考えることが難しい。PDCAサイクルで考える必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・振り返りや定例会などを通じて活動プログラムの改善や新しい活動を話すところが多くなってきている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・季節、イベントごとに変化のある活動をしている。 ・定例会やその他の話し合いで工夫するようになっている。	・様々なプログラムを行っているが特化するものも必要と考えている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	・個別活動と集団活動を分けたり、組み合わせるプログラムを入れるようにしている。 ・その日の利用者に合わせて個別or集団にするかを話し合いして決め・共有している。	・個別なことを重視した計画になりやすい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・役割分担の割り振り、進捗状況も合わせて共有するようにしており、スラックを活用して情報交換ができるようにしている。 ・体制表で役割分担がわかるようになっている。 ・受け入れ前のミーティングで必要な情報があれば共有している。	・ミーティングは行っているが、内容の濃さを上げる必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・毎日、振り返りは実施しており、共有を含め行い支援の中の困りごとについては次回の対応として考察している。 ・利用者のほっこりしたこと・良かったことも挙げるようにしている。 ・記録を基に振り返りを行っている。	・ミーティングは行っているが、内容の濃さを上げる必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・今年度より記録システムを導入してより細かい記録を残せるようになった。 ・振り返り時には、その情報を元に振り返りを行っている。	・記録はとっているが、個性が大きい内容になっている。改善が必要。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	・モニタリングの結果を定例会を通じて職員に共有している	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・利用者への選択肢の提示は、行うようにしている。「○○と○○」どちらがいい？「どうしたいかな？」コミュニケーションとしてもニーズの把握に努めている。 ・フリータイムや昼食のお弁当をおやつ購入で利用者が好むものを選択もらっている。	・「選択」する機会をどう増やしていくが課題である。	
関係	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		・学校や障害福祉課などとは連携できているが、医療までできていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・学校→駐車調整会議に参加している ・学校へのお迎え時に引継ぎで情報を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・保護者や事業所から依頼があれば情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	・児童発達支援センター主催の事業所連絡会や研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	6	・今年度は近隣の放デイ企画のポッチャ大会の参加案内ができ、利用者が交流できた。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・自立支援協議会とは別の地域の児童施設との集まりの参加している。(文京区児童ネットワーク) ・この会を基に自立支援協議会の子ども専門部会に提案を行っている。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・サービス提供記録票や電話・、メールでやりとりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・面談時に行っている。 ・新規利用者の方々には丁寧に行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情対応窓口があり、対応・共有している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・機関紙「JOYful」毎月を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・職員及び送迎車両運転手を含め個人情報の取り扱いには十分留意している。	・改善の余地あり
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・年に1回、生活介護事業所と合同で、お祭りを行っている。(ほんわかまつり)	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・面談時に安全計画の説明を行っている。 ・年に決まっている日に訓練を行っている。 ・マニュアルは確認している	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・毎年、生活介護事業所合同でBCP等の研修を行い参加している。 ・毎年、生活介護事業所合同で避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・面談時に情報を収集している。 ・面談時に得た情報を定例会を通じて職員に共有している。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・保護者に指示書の持参を依頼している	・医師の指示書が出提されているか把握していない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画を作成し研修・訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・面談時に説明している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットの事例集を作成し共有している。 ・受け入れ後のミーティングで共有し、話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・毎年、研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2	・同意をもらっている	・組織的に考え・決定する点において改善が必要。到達点はどこなのかより掘り下げて話し合える環境作りが課題。